

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北海道教育大学附属札幌中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒002-8075  
札幌市北区あいの里5条3丁目1-11

E-mail : sap-fuchu@s.hokkyodai.ac.jp

Website : http://fuzoku-chu.sap.hokkyodai.ac.jp/

児童生徒数：男子 180 名 女子 179 名 合計 359 名  
 児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ■ 国際理解、伝統文化

- ◆韓国 梨花女子大学附属中学校との交流に向けて  
(教材)
- ◆韓国すごろくを用いて、韓国に興味・関心をもつ  
(授業手法)
- ◆e-mail を用いて、英語でのやりとり：2年生 総合的な学習の時間
- ◆自文化、他文化という観点から、自国の伝統文化の理解、お互いの文化を尊重する心を育む学習活動を展開

### ■ 平和・人権

- ◆長崎大学教育学部附属中学校との交流（3年間の継続的な交流）  
(教材)
- ◆北海道と長崎県をそれぞれ調査したワークシートの交換：1年時社会科地理
- ◆“長崎語り”のレポートの活用：2年生 社会科歴史・道徳
- ◆修学旅行での長崎大学教育学部附属中学校との交流：3年生 特別活動  
(授業手法)
- ◆北海道と長崎の日々の生活の写真を交換して、実生活と関連づけた地理の学習
- ◆“長崎語り”（長崎の生徒が、自分の祖父母等に調査した戦争時の様子）のレポートによる、日本の現代史の学習の深化（平和学習）
- ◆グループでの話し合いや散策を中心として、長崎大学教育学部附属中学校と本校の生徒の相互作用を生かした平和学習の構築

### ■ 環境・防災

#### 特別活動での取り組み

- ◆学校宿泊で地域（あいの里地区）を探索し、地域の自然や人との関わり、防災の視点を取り入れた調査活動を実施：1年生
- ◆地域の自然を大切にするための環境活動（クリーンプロジェクト）：1年生  
ボランティア活動へのきっかけ及び地域社会とつながるきっかけをつくるために実施。ボランティア活動の大切さは分かっている、何をしたらよいか分からない子どもたちにきっかけを与えると同時に、あいの里に住んでいない子どもたちに地域への愛着をもたせるための活動

### ■ 平和・人権、国際理解、環境

#### 生徒会活動の取り組み

- ◆生徒会委員会がユネスコスクールの意識をもち、自分たちの委員会の活動に、ユネスコスクールとしての活動を取り入れ、実践している。
- ◆役員会：世界寺子屋運動に継続的に参加する。
- ◆文化委員会：外国の文化を調べ、日本とのつながりを見つけ、ポスターを作成し発信する。
- ◆体育委員会：世界のスポーツを調べ紹介する。

- ◆厚生委員会：ペットボトルキャップ回収、リングプル回収し国際貢献に参加する
- ◆リサイクル委員会：牛乳パック、古紙回収運動
- ◆図書専門局会：古本回収 など

■ 食育

特別活動での取り組み

- ◆栄養教諭による「望ましい食習慣とは」という学習課題での学年授業：2年生